

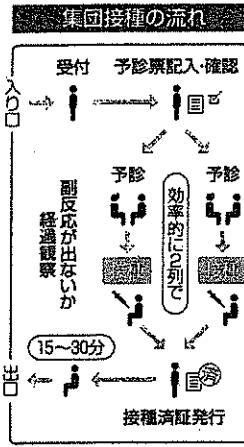
3/12

新型コロナ 防ぐ 知る

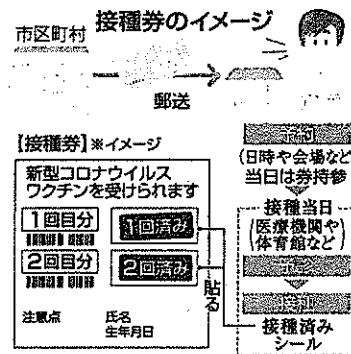
ワクチン接種 今知りたい

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まった。米ファイザー製のワクチンの有効性は高く、「20分の1にリスクを下げる」が、絶対に感染しなくなるわけではない。接種後は、マスクを着用しなくてよいのか、「副反応」を心配する人もいるが、打ちたくないければ、拒否できるのか。いつ、どこで接種できるのか、など、さまざまな疑問に、できる限りお答えします。

(藤川大樹・曾田晋太郎・小坂井文彦)



② どこで?



原則住民票ある自治体で

- コロナワクチン接種は初めて?
- クーポン券記載の市町村は住民票と同じ?
- 病気で治療(投薬)中?
- 病気を診ている医師はワクチン接種を許可した?
- 1カ月以内に発熱や病気は?
- 今日、具合の悪いところは?
- けいれん(ひきつけ)を起こしたことは?
- 重いアレルギー症状(アナフィラキシーなど)を起こしたことは?
- 予防接種で具合が悪くなったことは?
- 現在、妊娠の可能性はある?
- 2週間以内に別の予防接種を受けた?

市民のワクチン接種の管理は、市区町村が受け持つ。希望者は原則住民票のある自治体で接種するが、ドメスティックバイオレンス(DV)で避難中の単身赴任、大学進学などで住民票を移していなくても、住んでいる自治体に申請すれば接種できる。接種は大別する。診療所や病院での個別接種と、体育館などの特設会場での接種である。希望者は原則住民票を提出する。券は高齢者には貼られ、レンズ(DV)で避難中に、車内に貼られる。券は高齢者には貼られない。券は高齢者には貼られない。券は高齢者には貼られない。

集団接種の一通り。東京都練馬区など、「つを併用する自治体もあるが、集団接種が目的の自治体もある。



接種時期の想定	内容
2月17日~	・国立病院機構などの医療従事者ら(4万人)
3月中旬~	・コロナ診療に関わる医療従事者ら(470万人)
4月12日~	・高齢者3600万人のうち5万人
4月25日までに50万人分、6月末までに高齢者全員分のワクチンを配送	
その後	・基礎疾患のある人(820万人) ・高齢者施設などの職員(200万人)

高齢者 来月12日開始

- 七十万人に拡大される。
高齢者(一九五七年四月一日以前に生まれた約三千六百万人)への接種は四月十二日から。「ワクチン不足が接種を見る見込み。政府は、同十九日の週末
 - 始める。人口の多い東京都、神奈川県、大阪府は約千人ほかの道府県は約千人が接種を見る見込み。
 - 政府は、同十九日の週末が接種を開始。基礎疾患の有無ある人ら(約八百二十万)と高齢者施設などを働く職員ら(約一百万人)への接種を開始。基礎疾患の有無ある人ら(約八百二十万)は、接種希望者が市区町村に自己申告する。その後は六十、六十歳未満、六十一、六十二歳未満、七十九歳の順だが、早くても七月以降になりそうだ。
 - ・慢性的呼吸器の病気や心臓病(高血圧を含む)、腎臓病、肝臓病
・糖尿病
・血液の病気(鉄欠乏性貧血を除く)
・免疫の機能が低下する病気
・ステロイドなど、免疫の機能を下げる治療中
・免疫の異常に伴う神經疾患や神経筋疾患
・神經疾患や神經筋疾患が原因で身体機能が衰えた状態
・染色体異常
・重症心身障害
・睡眠時無呼吸症候群
- * BMI30(身長170cmなら体重約87kg)以上

注射器に吸引される、米ファイザー製の新型コロナウイルス感染症ワクチン。2月17日、千葉県市原市の千葉ろうさい病院で

③ 義務なの?

① いつから?

② どこで?

七十万人に拡大される。

ここに高齢者約五十万人分、六月末までに高齢者全員分のワクチンを全ての区市町村に届けるとしている。

罰則なし 妊婦は相談を

新型コロナワクチンの接種は予防接種法で、疫病の蔓延を予防するための「臨時接種」に位置付けられた。「妊娠を除く、十六歳以上の接種は「努力義務」。義務ではない、接種するかは本人が判断する。打たなくて罰則はない。治験結果がない、胎児への影響は不明。妊婦は接種するか、医師と相談した方がよい。日本産婦人科感染症学会と日本産科婦人科学会は、「妊娠十二週までには接種を避けた方が良い。

明確な規定はないが、心拍を確認する「心拍を確認する」などの提言をしている。

持病がある、接種すべきか悩んでいる人は、医師に相談する。感染して重症化するリスクを踏まえ、最終的には自分で判断する。

十六歳未満は、安全性が十分に確認されていないため、接種の対象外。当口、三十七・五度以上の熱がある人は接種できない。

④副反応とは?

「ワクチンを接種すると免疫ができる。そうした働き以外の体によらない痛みや発熱などが起きることを「副反応」と呼ぶ。薬の影響で起きる体によらないことは「副作用」と呼ばれるが、意味合いは同じ。厚生労働省によると、「副反応、副作用の使い分けの定義はない。慣例で呼び分けている」。

ワクチン接種後の副反応

ワクチン接種後(7週間以内)	
部位	割合
痛み	72.6
38度以上発熱	12.7
疲労	41.5
頭痛	34.5
悪寒	10.6
下痢	9.8
筋肉痛	33.5
関節痛	9.9
1回目	2回目
13.6	20.5

*医薬品医療機器総合機構(PMDA)の審査報告書に基づき作成

選択の余地なさそう

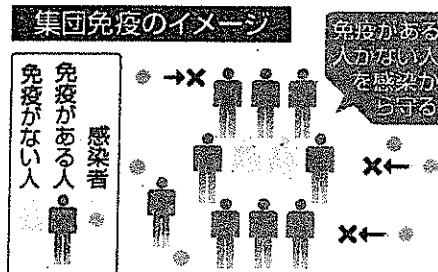
新型コロナワクチンに対する厚生労働省のコールセンター
【フリーダイヤル】
0120(761)770
午前9時～午後9時
(土日・祝日も受け付け)

現在、国内で接種をしている新型コロナワクチンは米ファイザーカ製のもの。政
府は、同社から一億四千四
百万回分の供給を受ける。
ほかに、承認審査中の英ア
ストラゼネカ製を一億一千
万回分、国内で治療中の米
モダナ製を五千万回分確
保している。

誰がどのワクチンを接種
するかは分からぬ。厚効
省は「接種を受ける時期に
接種されることになる」と記
明する。供給が進めば、ど
こどとのワクチンを接種
できるか公表される予定
だ。自分で調べて申し求め

⑤3種類から選べるの?

接種後も引き続きマスク着用を周囲にうつす危険性残る



本人提供

日本感染症学会
ワクチン委員会委員長

西順一郎氏

ワクチンのワクチンは新型コロナの発症を抑える効果(有効率)が95%以上ります。年によって異なりますが、一般的に30~70%とされるインフルエンザワクチンと比べ、非常に高い効率を示すとされています。

重篤な副反応は、適切に心配意識をすれば回避するアナフィラキシーショック以外に出ています。今のところ、接種のベネフィット(利益)がありません。(無症状の)不顕性感染になる可能性もあります。

自分は発症しなくとも、ウイルスを持っています。高齢者や周りの人につづく危険性は接種後もあらゆるので、マスクの着用が必要です。手洗いなど行動を取ることが大事です。感染防止対策を取りながら楽しんでください。

旅行も同じです。航空リスクはゼロにはなりませんので、旅先でどういう行動を取るかが大事です。感染防止対策を取りながら楽しんでください。

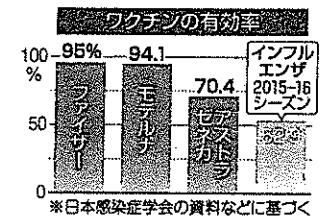
(効果いつまで)臨床試験(治験)で、最長で五ヶ月ほどは免疫が持続すると証明されています。RNAワクチンは免疫を誘導する力が強く、効果が長く続く可能性はありますが、半年以上続く可能性はありませんが、半

年、一年以上続くのかという評価はつきません。

変異株の流行が懸念されています。ワクチンが完全に効かないことがあります。ワクチンが伝播しなくなるのかも、そもそも分からぬので、(社会全体が)いろいろな説があります。六、七割といふ入もいれば、九割といふ人もいます。ワクチンの有効性がどうぐらいため、(ワクチンが)伝播しなくなるのかも、(社会全体が)あまり簡単ではないと思っています。

ワクチンの有効性

イスラエルの研究者らが「1回接種でも有効率は85%」と発表したが、政府は「科学的な裏付けがない」として、1回だけの接種に否定的だ。



イスラエルの研究者らが「1回接種でも有効率は85%」と発表したが、政府は「科学的な裏付けがない」として、1回だけの接種に否定的だ。

ファイザーワクチンは3週間の間隔で2回接種する。治験では約4万人を無作為に分け、半数がワクチンを、半数がプラセボ(偽薬)を接種した。2回目の接種から7日目以降に新型コロナを発症したのは、ワクチンを打ったグループが8人、偽薬のグループが162人。発症リスクは20分の1(5%)に減っている。これが95%の有効率

筋肉注射と皮下注射

ファイザーワクチンの接種は、上腕の「三角筋」という部位に、垂直の角度で針を刺す「筋肉注射」と呼ばれる方法で行われる。添付文書には、「静脈や皮下への接種は行わないよう定められている。

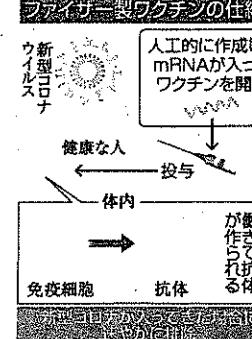
インフルエンザをはじめ、日本の予防接種は、皮膚に対して斜め30~45度に浅く針を刺す「皮下注射」が主流だ。これに対し、筋肉注射では皮下組織の下にある筋肉に針が届くように深く刺す。

筋肉注射と皮下注射のイメージ



日本感染症学会は「ワクチンに関する提言」で接種後の痛みに耐え、利き手でない方の腕に接種するよう推奨。2回目の接種も「1回目と同側が望ましいと考えられる」としている。接種後は、接種部位をもむ必要はないという。

ワクチンの仕組み



メッセンジャーRNAワクチン

従来は生ワクチンや不活化ワクチンが使われてきたが、最近はウイルスの遺伝情報を体内に注射して免疫を作る新しいタイプのワクチン開発が進んでいる。

ファイザーワクチンは、脂質の膜で包んだメッセンジャーRNA(mRNA)を投与する。ワクチンのmRNAは、新型コロナウイルスの表面にある「スパイクタンパク質」の設計図を持っており、細胞内に取り込まれると、スパイクタンパク質が作られ、これに対して免疫ができる。一方、アストラゼネカが2月5日に薬事承認を申請したワクチンは、ウイルスベクターワクチンと呼ばれるタイプだ。スパイクタンパク質の遺伝情報を、「運び役」となる別のウイルスに組み込んでいる。